



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 一六堂

コード番号 3366 URL <http://www.ichirokudo.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柚原 洋一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼財務経理部長 (氏名) 大木 貞宏

TEL 03-3510-6116

四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	7,448	5.5	514	15.7	752	38.0	372	123.1
24年2月期第3四半期	7,063	10.4	444	148.0	545	101.6	167	99.1

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 319百万円 (88.4%) 24年2月期第3四半期 169百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	43.61	39.27
24年2月期第3四半期	19.59	17.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	6,407	4,591	71.7
24年2月期	6,934	4,416	63.7

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 4,591百万円 24年2月期 4,416百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	525.00	—	9.00	534.00
25年2月期	—	8.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	12.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

1. 当社は、平成23年11月18日付で、株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。
2. 平成24年2月期期末配当の内訳は、普通配当6円00銭 記念配当3円00銭であります。
3. 平成25年2月期期末配当予想の内訳は、普通配当8円00銭 記念配当4円00銭であります。

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,523	6.7	907	19.4	1,053	19.3	473	53.1	55.39

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年2月期3Q	8,688,400 株	24年2月期	8,684,400 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年2月期3Q	133,700 株	24年2月期	133,700 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期3Q	8,551,136 株	24年2月期3Q	8,530,700 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

金融商品取引法に基づく、四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信においては、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外となっております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として、緩やかな景気回復の動きが見られたものの円高の継続、欧州債務問題による海外景気の下振れ懸念等により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当外食業界におきましても、厳しい雇用情勢や所得水準の低迷に加え、消費税増税等の先行き不安から、生活防衛意識によるお客様の節約・低価格志向が続くなど、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループにおきましては、客単価5,000円前後の主力和食業態「天地旬鮮 八吉」を中心に、主として東京都内のビジネス街に店舗展開を進めており、同業他社とは一線を画した営業戦略で差別化を図っております。当第3四半期連結累計期間におきましては、当社の主力業態である「天地旬鮮 八吉」を酒場風にアレンジした、新業態「八吉酒場」八重洲店をオープンいたしました。その他、「天地旬鮮 八吉」への業態変更1店舗と2店舗の閉店を実施した結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は83店舗となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,448,717千円（前年同四半期比5.5%増）、営業利益は514,758千円（前年同四半期比15.7%増）、経常利益は752,115千円（前年同四半期比38.0%増）、四半期純利益は372,909千円（前年同四半期比123.1%増）となりました。

今後も引き続き無理なく規模を拡大しながら、当社の特徴である漁港での鮮魚を直接買付けることのできる権利、すなわち買参権をさらに活かすべく、特に既存店を質的、人的両面ともにさらに充実したものにするために戦略的な営業、人員の採用を引き続き実施していく所存であります。

(注) 当社グループは、飲食事業並びにこれに付帯する業務の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産の部は6,407,641千円、負債の部は1,816,338千円、純資産の部は4,591,302千円となりました。この結果、自己資本比率は71.7%となっております。

#### ① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,159,746千円となり、前連結会計年度末と比較して、127,480千円減少しております。主な要因は、既存借入金の返済や設備投資等があったことにより現金及び預金が増加したことから減少したことに由来するものであります。なお、当第3四半期連結会計期間末の流動資産÷流動負債で表される流動比率は、前連結会計年度末と比較して38.8ポイント改善し176.6%となりました。

#### ② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は4,247,895千円となり、前連結会計年度末と比較して399,377千円減少しております。主な要因は、有形固定資産が減価償却費等により226,389千円、無形固定資産がのれん償却額等により54,227千円減少し、さらに投資その他の資産が投資有価証券の売却等により118,760千円減少したことによるものであります。

#### ③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,223,183千円となり、前連結会計年度末と比較して436,816千円減少しております。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が211,479千円、税金納付により未払法人税等が170,637千円減少したこと等によるものであります。

#### ④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は593,154千円となり、前連結会計年度末と比較して264,474千円減少しております。主な要因は、長期借入金の返済により241,422千円減少したこと等によるものであります。

#### ⑤ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は4,591,302千円となり、前連結会計年度末と比較して174,432千円増加しております。主な要因は、当第3四半期連結累計期間における四半期純利益372,909千円の計上による増加、剰余金の配当により145,361千円、その他有価証券評価差額金53,214千円の減少によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年4月9日の「平成24年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

#### （1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,607,370	1,447,890
売掛金	208,891	241,343
商品	201,768	224,526
その他	269,196	245,985
流動資産合計	2,287,226	2,159,746
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,690,506	1,505,271
土地	741,130	741,130
その他(純額)	221,984	180,831
有形固定資産合計	2,653,622	2,427,232
無形固定資産		
のれん	73,194	22,521
その他	18,346	14,792
無形固定資産合計	91,541	37,314
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,658,440	1,660,891
その他	268,284	147,073
貸倒引当金	△24,615	△24,615
投資その他の資産合計	1,902,109	1,783,348
固定資産合計	4,647,273	4,247,895
資産合計	6,934,499	6,407,641

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	182,240	193,119
1年内返済予定の長期借入金	603,868	392,389
未払法人税等	280,906	110,268
資産除去債務	774	1,142
その他	592,211	526,265
流動負債合計	1,660,000	1,223,183
固定負債		
長期借入金	650,096	408,674
資産除去債務	128,100	129,316
その他	79,432	55,164
固定負債合計	857,628	593,154
負債合計	2,517,628	1,816,338
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,161,127	1,161,227
資本剰余金	1,219,935	1,219,935
利益剰余金	2,101,415	2,328,962
自己株式	△118,821	△118,821
株主資本合計	4,363,655	4,591,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,214	—
その他の包括利益累計額合計	53,214	—
純資産合計	4,416,870	4,591,302
負債純資産合計	6,934,499	6,407,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	7,063,500	7,448,717
売上原価	1,876,443	2,104,902
売上総利益	5,187,056	5,343,814
販売費及び一般管理費	4,742,119	4,829,056
営業利益	444,937	514,758
営業外収益		
受取利息	148	94
受取配当金	4,031	5,138
協賛金収入	111,236	97,470
投資有価証券売却益	—	116,100
その他	17,099	29,496
営業外収益合計	132,515	248,299
営業外費用		
支払利息	15,907	10,044
為替差損	14,835	—
その他	1,533	898
営業外費用合計	32,275	10,943
経常利益	545,177	752,115
特別損失		
固定資産除却損	—	4,526
減損損失	—	56,830
店舗閉鎖損失	—	4,594
損害賠償金	2,592	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	68,690	—
その他	1,290	—
特別損失合計	72,573	65,951
税金等調整前四半期純利益	472,604	686,163
法人税、住民税及び事業税	258,403	290,538
法人税等調整額	47,046	22,715
法人税等合計	305,449	313,254
少数株主損益調整前四半期純利益	167,154	372,909
四半期純利益	167,154	372,909



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	167,154	372,909
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,505	△53,214
その他の包括利益合計	2,505	△53,214
四半期包括利益	169,660	319,694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	169,660	319,694
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。